

活動名：喜多方市蔵のまちフットサル4年生大会

日程：平成25年11月30日（土）・12月1日（日）

会場：喜多方市押切公園体育館

参加：エンジョイ4クラス（4年生男子）13名

帯同：設楽・小松・矢吹航太郎コーチ

結果：16チーム中9位

対戦相手：1日目予選リーグ●北部 ○喜多方東 ●会津サントス

リーグ3位通過 フレンドリートーナメント進出

2日目Fトーナメント ○高郷・山都 ○ヴェルジナーレ ●興譲

16チーム/第10位

感想：

毎年、学年ごとに参加させていただいています「喜多方フットサル大会」の4年生大会を終え、この二日間で子どもたちは貴重な経験ができました。

結果は期待どおりにはいきませんでした。試合後には各家庭で保護者とお子様の会話の中から、それぞれに感じたお子様のお話しや感想が聞けたと思います。

さて、今回は私が4年生チームの主体となり指揮をとりました。

まず、ミーティングにおいて、気持ちが浮ついている選手達へ、この大会での姿勢や気持ちの入れ方について、

- ◎何を目標とするのか？・・・選手達は『優勝』を自分たちで設定する。
- ◎この大会に参加できるのは誰に感謝なのか？・・・親への感謝、大会に招待してくれた関係者への感謝など。
- ◎感謝を表すには？・・・みんなにあいさつをしっかりすること。一生懸命にあきらめないでプレーすること。仲間と仲良く思いやりを持つこと。
- ◎特にあいさつについては・・・あいさつは気持ちいいものであり、会場でコーチがあいさつした方々も自分たちにとっても関係する大切な人たちであるので一緒にあいさつをして欲しい。

といったことを話し合い、選手達は真剣な眼差しで聞いていました。

さて、試合内容ですが、10年間のアーレ活動で何十回も各学年で挑んできたこの大会ですが、今回の選手たち（チーム）は、試合運び（内容）と結果がまったく違う不思議な終わり方でした。

試合の内容はボール支配率も高く、ボールキープ力でも上回っていたのに試合が終わってみると負けていた・・・???

なかなか結果はついてこないものです。

大会で勝っていくチームは、やはりメンバーを確立し、フォーメーションを確定し、レギュラーやキーパーの専属プレーヤーを定め、チームとして作ってきていると感じます。各チームはそれぞれに違う活動と育成です。

しかし、我がクラブはフットサルを初めてやる選手も多く、ルールもやっと覚えた状況の中、チームづくりではないスキルアップ中心の練習も、試合内容や観客を魅了するプレーを個々に見せられたことは、間違っていない指導と育成であると感じています。

戦い方としては、みんなが平等でこの大会を経験してほしいと、誰が「何分出場」したのかを記録し、二日間をとおして選手たちはほぼ平等にプレーでき経験できたことだと思います。

チームの結果を求めず、個々の技術を発揮する場として試合を捉え、一人一人を私たちがしっかりと見てあげることが大事だと思います。

我がチームとしては、なかなかチームの結果がでないので、これでいいのかと思う方々もいると思いますが、子どもたちがどこのステージで花開かせるのか？という今ではなく将来であり、小学生ではチームづくりよりも個々の技術だと切実に思っています。

トラップ、ドリブル、パス、シュートといった基礎が思ったとおりにできない選手は、グループ戦術を学ぶ前に基礎を身につけないといけません。中学校や高校では基礎の練習時間はなく、戦術が中心です。

基礎ができていない選手は次の中学校のステージでは行き詰まり、戦術を知っていても通用せず、その次の高校では高いレベルのサッカーについていけることができなく、私の経験からも今のアーレ OB たちの経験からも言えます。

今回の4年生たちもプロのサッカー選手を目指しているようです。

そんなことから、この大会で勝った、負けたといった思い出づくりよりも、どれだけ個々に場面場面でチャレンジできたかの内容をしっかりと評価してあげ、その成功と失敗を日々の練習に持ち帰り、良いことを伸ばしあげ、課題を克服してあげたいと思います。

こんなに素晴らしい試合ができて、結果がついてこなかった今回の大会は非常に残念でしたが、子ども達の頑張りにおけるプレーは高い評価だったと思います。今後も一緒に練習を頑張っていきたいと思います。そしてまた5年生大会に参加させていただき、4年生のときとは違う自分の技術を出し切り、どれだけ通用するのかを個々に確認できればと思っています。

未知の可能性を持っている子どもたちは、これからが楽しみです。この大会を通して成功や悔しい失敗を経験し、一歩ずつ成長してくれることを今後も期待しています。

寒い中、喜多方まで2日間、子ども達の送迎と熱い応援を頂きましたご父兄の皆様、ありがとうございました。子どもたちは本当に幸せです。また、他のクラスのご父兄達からも沢山の応援メールを大会中にいただきこと、アーレファミリーとして感謝いたします。これからも温かいご協力とクラブへのご理解を宜しくお願い致します。

今回は後輩たちのために応援にかけつけ、いろんな雑用を気持ちよく引き受けてくれたOB「泰知先輩、真聖先輩」も感謝です。



大会関係者の皆さま、毎年、狭き参加チームの中に我がクラブをご招待いただき、有難うございました。

4年生の時期に同年代の選手と対戦でき、参加した選手たちは将来につながる貴重な機会となり、また日々の練習の目標ができました。

また来年も是非、宜しくお願い致します。

